

岡部悟朗先生の略歴及び主な研究業績

略 歴

- 昭和43年3月 広島大学政経学部 卒業
- 昭和45年3月 九州大学大学院法学研究科修士課程(政治学専攻)修了
法学修士
- 昭和49年3月 九州大学大学院法学研究科博士課程(政治学専攻)
単位取得満期退学
- 昭和45年4月 九州大学助手法学部 (昭和46年3月まで)
- 昭和49年7月 鹿児島大学講師法文学部
- 昭和53年10月 鹿児島大学助教授法文学部
- 昭和56年4月 鹿児島大学大学院法学研究科 担当教員(政治学)
- 平成10年4月 鹿児島大学大学院人文科学研究科 担当教員(政治学)
- 昭和63年4月 鹿児島大学教授 法文学部
- 平成22年3月 鹿児島大学定年退職
- 平成22年4月 鹿児島大学名誉教授

主な研究業績

1. 著書

(翻訳書) A・ヴィンセント『国家の諸理論』昭和堂、平成3年9月

2. 論文

- ・G・リュエデ『ゴードン暴動。暴徒と犠牲者に関する一考察』政治研究17号、昭和44年
- ・カール・R・ポパーの認識方法と歴史理論、九州大学、昭和45年
- ・K・ポパーの「開かれた社会」について、九州大学、昭和48年
- ・現代イギリス政治理論研究—カール・R・ポパーについて—、政治研究21号、昭和48年
- ・K・ポパーの理論科学—政治理論の発展の為に、九大法学28号、昭和49年
- ・理論科学の方法論的検討、鹿児島大学法学論集14巻1号、昭和53年
- ・鹿児島の経済と社会、鹿児島県地方自治研究所、昭和55年
- ・リヴァイアサンの論理(一)、鹿児島大学法学論集21巻1・2合併号、昭和57年
- ・幾つかのホッブズ研究をめぐって、鹿児島大学法学論集21巻2号、昭和61年
- ・リヴァイアサンの論理(二)、鹿児島大学法学論集22巻1号、昭和61年
- ・オークショット『リヴァイアサン』序論(一)、鹿児島大学法学論集22巻2号、昭和62年
- ・リヴァイアサンの論理(三)、鹿児島大学法学論集23巻1・2合併号、昭和62年
- ・オークショット『リヴァイアサン』序論(二)、鹿児島大学法学論集23巻1・2合併号、昭和62年
- ・ホッブズ国家論の一断面、広島大学・広島法学11巻3・4合併号、昭和63年
- ・オークショット『リヴァイアサン』序論(三)、鹿児島大学法学論集24巻1号、昭和63年
- ・A・ヴィンセント『国家の諸理論』、鹿児島大学法学論集25巻1・2合併号、平成2年
- ・A・ロギー『ホッブズ』(一)、鹿児島大学法学論集28巻2号、平成5年
- ・A・ロギー『ホッブズ』(二)、鹿児島大学法学論集29巻1・2合併号、平成6年
- ・A・ヴィンセント『現代政治イデオロギー』(一)、鹿児島大学法学論集32巻1・2合併号、平成9年
- ・A・ロギー『ホッブズ』(三)、鹿児島大学法学論集33巻1号、平成10年
- ・A・ヴィンセント『現代政治イデオロギー』(二)、鹿児島大学法学論集33巻1号、平成10年